

はじめに

本マニュアルの
目的(趣旨)

古民家は、地域の気候風土と歴史文化によって生まれ、なりわいや冠婚葬祭など、人々の日々の暮らしや触れ合いを育みながら、個性豊かな町並みを形成してきました。

『古民家』に明確な定義があるわけではありませんが、時の流れの中でその価値を認識されない古民家が日々失われつつある昨今、趣のある外観、自然環境と一体となった佇まいや町並みは、国内外から観光客を呼び込む貴重な「地域資源」として、また時代を超えて住み継がれるべき「住まい」として、改めてその価値が見直され、宿泊施設や飲食店等での活用事例や、古材での活用事例も増えてきています。

こうしたニーズの高まりの一方で、昨今のDIYブーム等も重なり、建築士等の専門家の関与がないまま、不適切な改修が行われる懸念も生じています。

本書は、古民家活用にあたって関連法規の遵守事項とともに、先進的な活用事例を掲載し、古民家を活用しようとする方の参考として、分かりやすく取りまとめたものです。

本書が、古民家が持つ素晴らしい価値や潜在的な可能性への気づきと、安全で安心な活用促進の一助となることを期待します。



Contents

1 改修の全体の流れと注意点	2
2 活用にあたり適用される法律	3
3 古民家等の改修における課題	7
4 歴史的価値を損なわない改修方法	10
5 古材の活用紹介	13
6 先進事例の紹介	15
7 信州の古民家資産	25
8 活用のための情報収集	27
9 改修に対応する助成制度	28
10 トラブル回避と相談体制	30